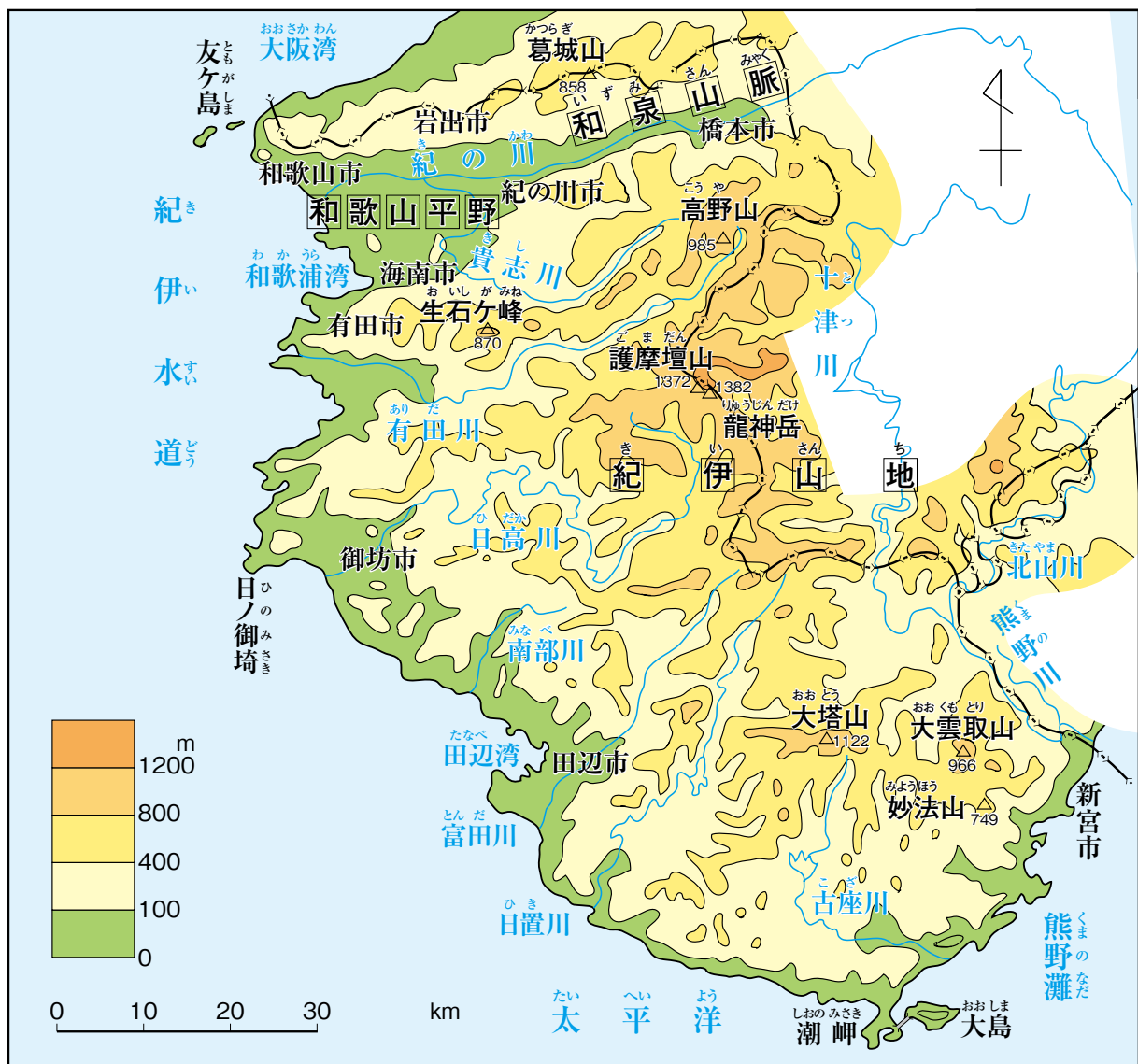




和歌山県の土地のようす

わかなさんは、学級の人々に発表しました。



わたしは、春休みに新宮市へ行ってきました。
和歌山県は海に面していて、北から南へ出入りの多い海岸線がのびています。電車で行くと、景色がとてもきれいでした。海岸線はおよそ650kmもあるそうです。
新宮市からは、車で本宮と龍神、高野山と山の中の道を行いました。詩のように緑がいっぱいで、とてもきれいでした。

和歌山県は豊かな自然にめぐまれているんだね。



みなさんが住んでいるのはどんなところかな。

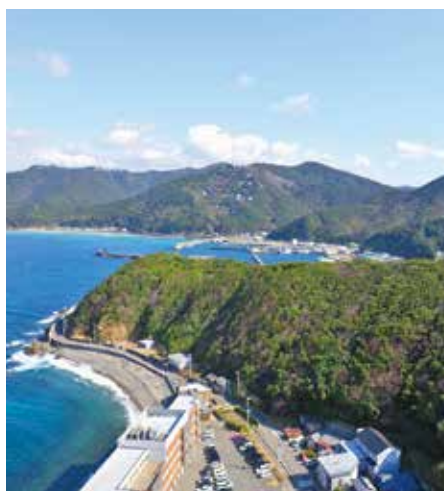




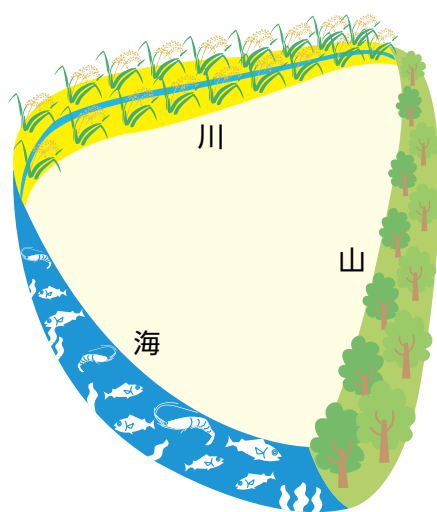
紀の川河口と和歌浦湾



紀の川にそった和歌山平野



山が海にせまっている海岸線
(日高郡日高町付近)



紀伊山地の山々

自分たちの住んでいる地域とほかの地域の気候や産業をくらべてみよう。

(2) 三色おにぎり和歌山県

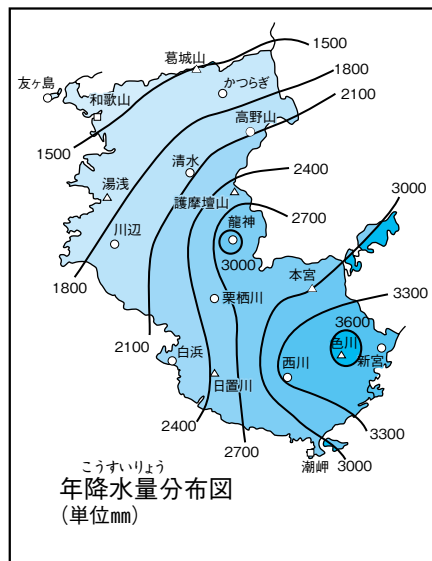
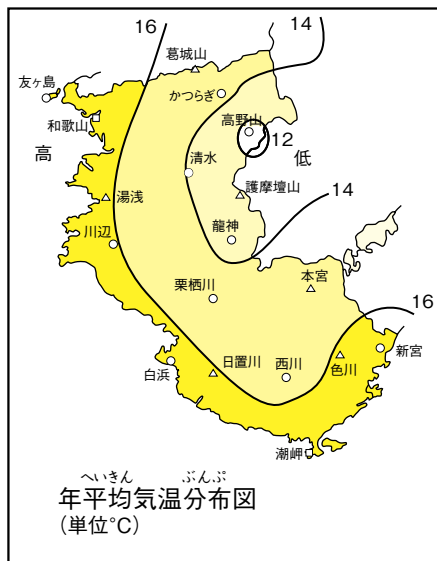
電車で行ったところ，車で走ったところ，紀の川にそったところを線でつなぐと三角形になりました。

海に面したところは青色で，山の中は緑色にぬりました。紀の川にそったところは，米がたくさん実るところなので黄色にぬりました。



「わあ，きれいな三色おにぎりになったね。」

みんなは，大発見をしたよううれしい気持ちになりました。



ちいさきしょうかんそく
地域気象観測所の1991年～2020年の平均
(和歌山地方気象台)



(3) 調べよう、いきいき和歌山県

学級みんなは、三色おにぎりの絵と分布図・写真を見て話し合いました。



「あたたかく、雨の量が多いので米や野菜がたくさんとれて、農業がさかんなのかな。」



「山が多いから、きっと林業がさかんだと思うよ。海に面しているので、水産業もさかんだろうな。」



「和歌山県は自然がいっぱいだから、きっと自然をいかした産業が行われていると思うわ。」

わかなさんの発表がきっかけになって、和歌山県の農林水産業について調べていくことになりました。

和歌山県内のいろいろなところを調べるのが楽しみだね。



② 和歌山県の農業



1

和歌山県の
農業のすがた

紀の川市桃山町のもも畑

きれいなももの花だね。

遠くに山が見えるよ。畑が一面に広がっているね。

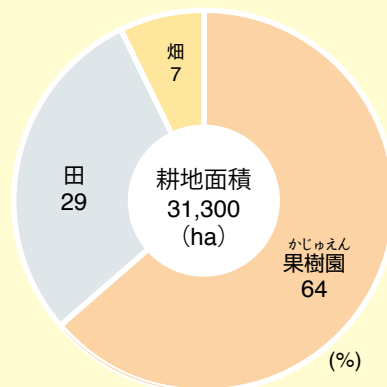
和歌山県の面積は約4,725km²で、そのうち、
耕地は約15分の1の313km² (31,300ha) です。





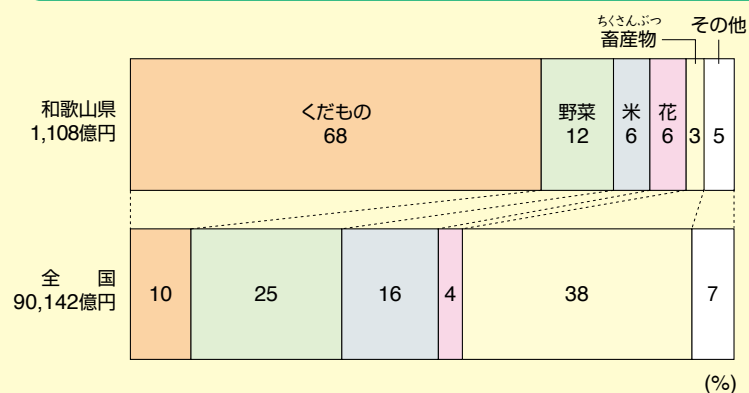
和歌山県の耕地利用の様子 2022年

〈近畿農政局調べ〉



農業生産額のわりあい 2022年

〈近畿農政局調べ〉



和歌山県では、くだもの生産が多いんだね。どうしてかな。

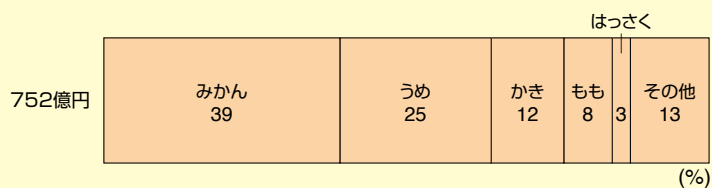


どのようにしてあまいもみに育っていくのかな。



和歌山県のくだもの生産額のわりあい 2022年

〈近畿農政局調べ〉



農業の めぐみが いっぱい 和歌山県

P1, P9, P83・84の市町村地図とくらべながら、どこでどんなものが作られているか調べてみよう。



岩出市の
とうがらし作り

岩出市では、「ねごろ大唐」という大きなとうがらしをさいばいしています。阪神方面に出荷されます。



紀の川市の
もも作り

紀の川市桃山町のももは、「あら川の桃」として出荷されています。

有田川町の
さんしょう作り



有田川町清水では、ぶどうのようにたくさん実をつける「ブドウサンショウ」というさんしょうをさいばいしています。

白浜町の
茶作り



白浜町市鹿野では、お茶のさいばいがさかんで、「川添茶」として出荷されています。



和歌山市の
だいこん作り

和歌山市の砂地の畑では、むかしから、だいこんやしょうが・にんじんなどがよく作られています。



紀の川市の
いちご作り

紀の川市では、いちご作りがさかんです。



海南市の
びわ作り

海南市下津町では、むかしからびわのさいばいがさかんです。6月ごろ収穫され、各地に出荷されます。



田辺市の
すもも作り

田辺市ではすもも作りがさかんです。



由良町の
にんにく作り

由良町では、にんにくのなえを10月に植えつけ、次の年の5月に収穫します。



かつらぎ町の
くしがき作り

かつらぎ町^{しつ}四郷で作られているくしがきは、全国的に有名です。



九度山町の
かき作り

九度山町では、「富有」や「平たねなし」などのかきが作られています。和歌山県のかきの生産額は、日本一です。



橋本市の
ぶどう作り

橋本市では、「巨峰」や「ピオーネ」などのぶどうが作られています。



かつらぎ町の
野菜作り



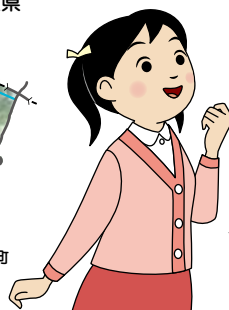
かつらぎ町の山間部では、夏にすずしい気候を利用して、「夏秋きゅうり」を作っています。



北山村の
じゃばら作り

北山村のじゃばらは、ジュースやジャム・ぼん酢・あめなどに加工されます。

気候や地形に合わせていろいろなものが作られているね。



串本町の
きんかん作り

串本町^{おおしま}大島では、温暖な気候を利用してきんかんをさいばいしています。



古座川町の
ゆず作り

古座川町では、平井地区を中心にゆずのさいばいがさかんです。収かしたゆずは、ジュースやジャム・ぼん酢などに加工されます。



どのように作られているのかわしく調べてみよう。

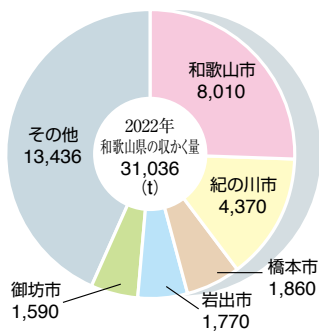


農家のくらし

竹田さんはどのようにして
米作りをしているのだろう。



市町村別米の収^{しゅう}かく量
〈近畿農政局調べ〉



① 米を作る農家をたずねて



う品種を植えて、そのあとに野菜を植える準備をします。

このあたりは、紀の川の^{ゆた}豊かな水を利用して米作りがさかん
です。わたしの家では、家ごとと協力して作業をしています。



コンバインによる収かく

9月、わかなさんたちは、もう一度竹田さんをたずねました。



「小さかったなえがこんなにたくさん実をつけたね。」



「どのようなことに気をつけて、お米を作っているのですか。」

どんな機械を使っているのかな。



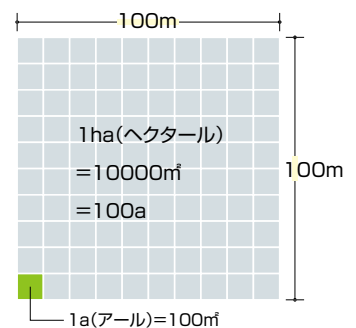
天候に気をつけながら、米作りをしているんだね。ほかにはどんなことをたいせつにしているのかな。



収かくまでには、冬の田おこしから始まって、たくさんの仕事があります。

また、農業は天候に左右されます。そのため天気予報よほうを参考にして次の作業の計画を立てます。無事に田植えを終えても、大雨や日照りひでになるとうまく育つかとても心配します。何度も田を見に行って、稲の様子かくにんを確認します。最近ひんしつはむかしより気温が高くなり、米の品質えいきょうに影響が出てきました。そこで、早朝や夕方に田に水を入れて水温を下げます。また、高温でもよく実る品種たいさくを取り入れるなどの対策を行っています。

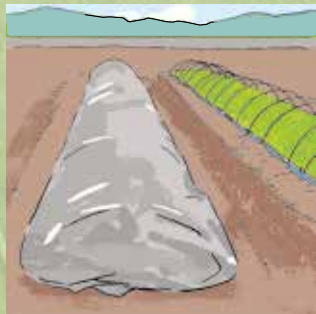
このように、たくさんの手間をかけて、やっと9月から10月に収かくできたときは、とてもうれしいです。



② 米作りの1年



もみまき
なえ箱に種もみをまく。



いくびょう
育苗
なえ箱に銀色のシートをかぶせて発芽させる。その後、日光を当てじょうぶななえに育てる。



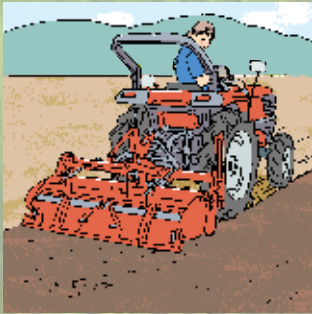
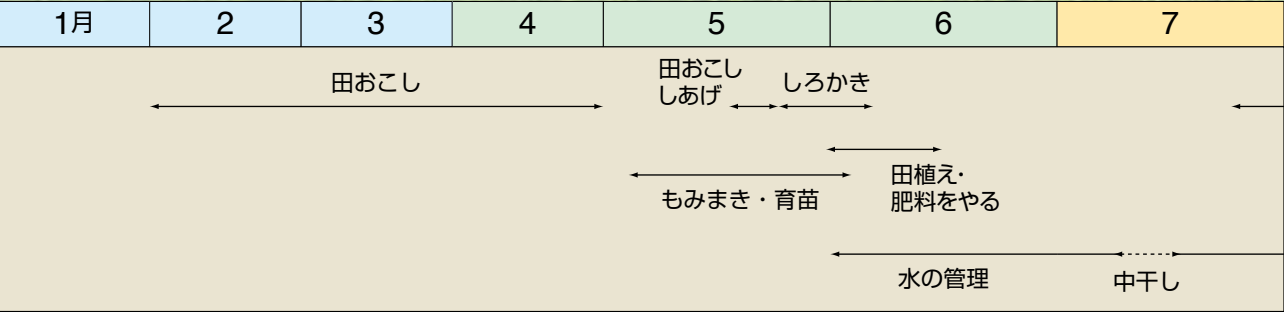
しろかき
田に水を入れて、土を細かくし平らにならす。



ひりょう
田植え・肥料をやる
田植え機でなえを植える。同時に、運転席後ろのボックスに入っている肥料がまかれていく。

竹田さんは、1年間、どんな仕事をしているのだろう。

竹田さんの米作りの作業ごよみ（2024年）



田おこし
田植えまでに、数回よくたがやす。



水の管理
この地区では、きかわ紀の川の水を引いた用水路が通っています。
稲の生長に合わせて、田に水を入れたり、水の深さを調節したりします。



ぼ
中干し
7月20日ごろに、田の水をすっかりぬいてしまいます。そうすることで、根が土の中によく張り、たおれにくいじょうぶな稲に育ちます。



稲かり・だっこく
コンバインでかりとり、
もみを収^{しゅう}かくする。



かんそう・もみすり
もみはその日のうちに
かんそう機に入れてかわか
し、次の日にもみすりをす
る。

「たくさんの機械を
使うのですね。」



広い面積を
家ぞくで作業
できるのも機

械化が進んだからだ
と思います。

こんなに広い面積で
も、田植えは4日、稲
かりは7日ですますこ
とができます。かんそ
うも機械でできるよう
になりました。手作業
でしていたころに比べ
ると何倍も早くなりま
した。

しかし、よいことば
かりではありません。
機械のねだんは、1年
間に使う日数から考え
ると、とても高いもの
になります。

8	9	10	11	12
農業散布	稲かり・だっこく かんそう・もみすり			



のう やく さん ぶ 農業散布

病害虫を防ぐため、夏の
間に農薬を散布します。マ
スクをつけて、長そでを着
ての作業は、暑い時期でと
てもたいへんです。

米作りの仕事は、10月
の中ごろまでいろいろあ
るね。米作りの後、竹田さ
んは何をしているのかな。





種まきのポットに、プラスチック
の型を押し当ててあなを開ける。



128個のあなが開いた透明のケ
ースに種を入れ、あなに合せて
種をまく。



種まきの後、バーミキュライト
という土をかけて種をおおう。

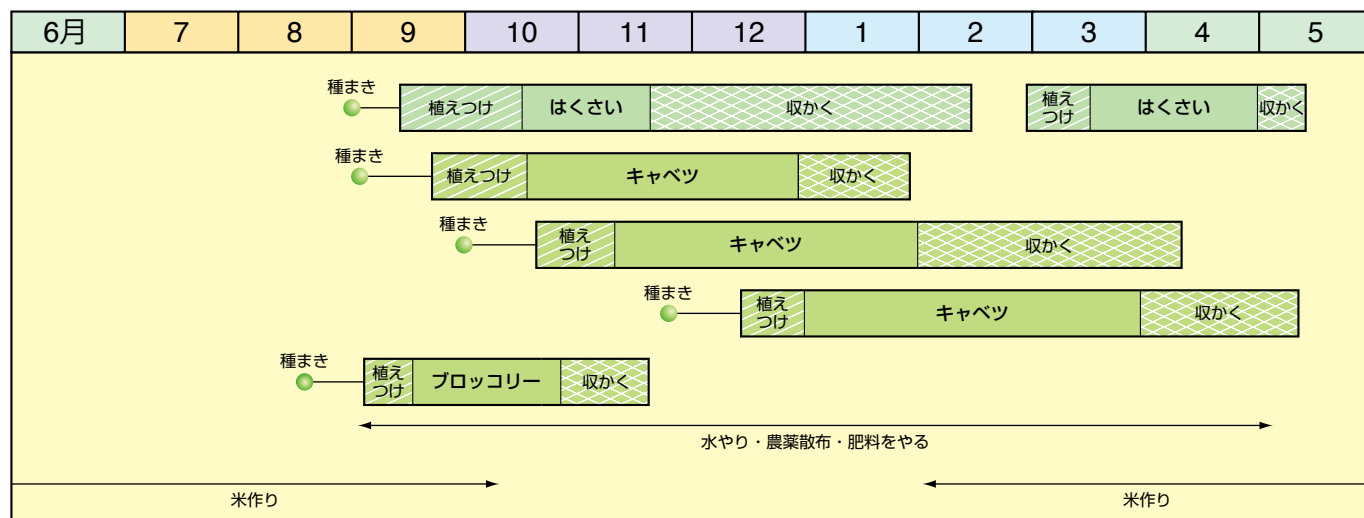
米作りが終わった後、竹田さんは
どんな仕事をしているのだろう。

③ 野菜作り

竹田さんの家では、米作りの終わった田で、キャ
ベツやはくさい、ブロッコリーを作っています。少
しずつ植える時期をずらして、長い期間^{しゅう}収かくでき
るようにしているそうです。

米作りが終わっても、次々と作業が続きます。

竹田さんの作業ごよみ（2023～2024年）





約一か月でなえが育つ

発芽するまで黒い日よけのシートをかぶせておく。発芽したらシートをとる。



うねにそって機械を動かし、なえを植え付けていく。



収かくして箱づめをし、JAの集荷場に運ぶ。そこから京阪神へ送られていく。



「ほかにもくふうしていることはありますか。」



稲かりを^{いね}するころ、野菜の種まきをし、野菜作りのじゅんびにかかります。春に収かくするはくさいは、^{ふしょくふ}植え付けた後は、不織布をかけて育てます。冬でもすくすくと育ち、春の田おこしまでに収かくできるのです。このように、同じ作物でも気温の変化によってくふうが必要になります。

野菜作りはいそがしいですが、おいしく育った野菜を収かくする時がいちばんうれしいです。消費者に喜んでもらえる野菜を作ることがわたしの目標です。

不織布とは

通気性のある繊維^{せんい}でできている。日光や水を通し、保温^{こうか}効果、霜^{しも}をふせぐ効果、鳥をふせぐ効果などがある。寒い時期に作物の育ちが早まる。



左…キャベツ、ブロッコリー用収かくがま
右…はくさい用収かくがま

1年間に田畑を何回も利用できるよう、よく考えているね。

農業は天候と深いかわりがあるんだね。

1年間ずっといろいろな仕事が続くんだね。



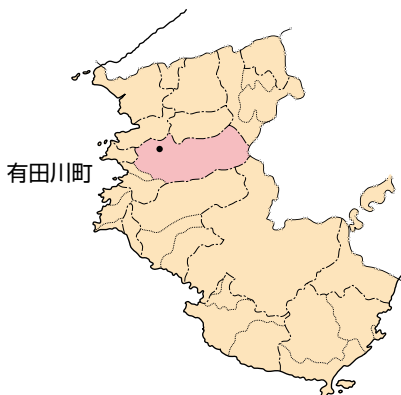


みかんは、どのように作られているのだろう。

みかんを^{しゅう}収かくする稲住さん



みかんを作っている畑から見た景色



(2) みかんを作る農家

① みかんを作る農家をたずねて

わかなさんたちは、みかん作りにはげむ有田川町^{たぐち いなずみ}田口の稲住さんをたずねました。

家の前から見える山のしゃ面には、たくさんのみかんの木が植えられていました。

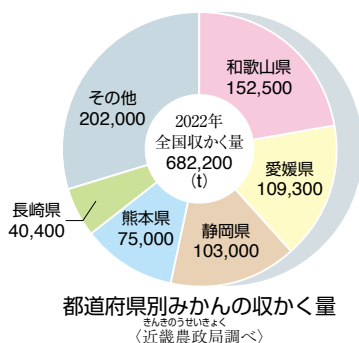
急な坂道をのぼり、稲住さんの畑に着きました。



「きれいな色のみかんがたくさん実っているね。」



「どうしてみかんは、山のしゃ面で作られているのだろう。」





「どのようにしておいしいみかんを作るのですか。」



みかんは、あたたかい太陽の光と水はけのよい土でおいしくなります。ですから、このように日がよくあたる山の南しゃ面で作られることが多いのです。みかんの木を元気にし、おいしいみかんを収^{てき}かくできるように摘果やせん定^{ひりょう}をします。土作りや肥料^{ひりょう}をやるのも、おいしいみかんを作るためにはとてもたいせつです。

また、シラヌヒ^(い)（デコポン）や清見^{きよみ}も作っています。これらは風味^{ふうみ}がよいので人気があります。

いろいろなみかんが作られているのね。



広い畑の世話や収^{てき}かくを早くすませることができるように、どのようにふう^{ふう}をしているのだろう。



稲住さんの畑（計4.3ha）（2024年）

うんしゅう 温州みかん 3.6ha			シラヌヒ 0.3 ha	清見 0.4 ha
ごくわせ 1.0ha	わせ 2.1ha	なかて 0.4ha	おくて 0.1ha	

稲住さんの作業ごよみ（2024年）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
温州みかん 	土作り	せん定 肥料をやる					摘果 (実の数をへらす)			収かく 肥料をやる		
シラヌヒ 	土作り	収かく	せん定 肥料をやる	肥料をやる	肥料をやる	摘果	肥料をやる					
清見 	土作り	収かく	せん定	せん定 肥料をやる	肥料をやる	摘果	肥料をやる					

水やり・農薬散布



農薬散布作業車



みかんを運ぶ機械

広い畑でみかん作りをするのに、どのようにくふうをしているのだろう。

② みかん作りのくふう



「みかん作りにはどのようにくふうがあるのですか。」



スプリンクラーによる水やり



みかんの摘果作業

わたしは、広い畑でたくさんの品種^{ひんしゅ}のみかんを作っています。また、品種を変えて、時期をずらしてさいばい^{しゅう}することで毎日少しずつ収^{こうりつ}かくできるようにしています。広い畑で早く、効率よく作業ができるように機械を使うようにしています。

この機械は、収^{ひりょう}かくしたみかんや、畑にまく肥料を運ぶためのものです。重い荷物を持って、だんだん畑をのぼったり、くだったりしなくてもいいのでとても助かります。

ほかにもスプリンクラーという機械があります。水を自動^{じどうてき}的にまくことができて便利です。



「機械を使うと作業が早くなって便利ですね。」



みかん作りは、機械ばかりではなくて手作業でないとできないものもあります。例えば、摘果^{てきか}や収^{てきか}かくの作業は、一つ一つのみかんを手作業で取っていかなければなりません。家族と力を合わせて毎日少しずつ作業しています。

③ みかんの出荷



「収かくしたみかんを、どこへ、どのように出荷するのですか。」



収かくしたみかんを、あらかじめ家で一つ一つ大きさを色・きずなどでより分けます。その時期には、毎日夜おそくまでの作業が続きます。そして、^{ジェイエー}JAの選果場で選果し、トラックで日本各地へ出荷します。



^{いなずみ}稲住さんの家族が一緒に選果作業



おいしくて品質のよいみかんを
^{とど}みんなに届けているのね。

JA選果場のようす



収かくしたみかんは、選果場のエリアに運ばれ、いたんだみかんがないように、ていねいにより分けられます。



光センサーで大きさや味・色・形・きずを見分けています。



^{ひんしつ}品質や大きさを表示して、出荷されます。



中早さんは、どのようにうめ作りをしているのだろう？

青うめを収かくしている中早さん

(3) うめを作る農家

うめを作る農家をたずねて

日本一のうめの収かく量^{しゅう}をほこるみなべ町。

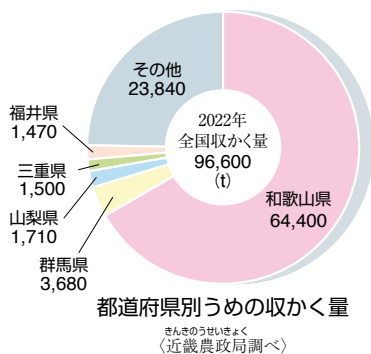
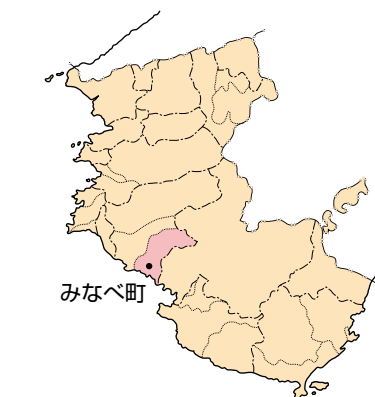
まきおさんたちは、みなべ町でうめ作りにはげむ
なかはや
中早さんをたずねました。



「1本の木に、たくさんのうめがなっているんだね。」



「大きいうめですね。なんという品種^{ひんしゅ}ですか。」



これは「南高^{なんこう}」という品種です。南高は、実が大きく、収かくも加工もしやすいです。約6haの広い畑で育てています。

今は、青うめを収かくする時期です。青うめはうめ酒やシロップ用に出荷します。

うめ作りをして、わたしで4代目になります。



青うめの選果作業



「収かくした青うめはどうするのですか。」



収かくした青うめは、まず変色やきずがないか確かめます。その後、選果機で大きさ別に分け、出荷します。



大きさ別に分ける



「うめ作りでは、どんなことに気をつけて作業していますか。」



せん定がたいせつです。せん定のしかたをくふうし、一つ一つの実がしっかり育つようにしています。

また、土作りにも力を入れています。肥料の種類や回数をくふうをすることで、品質のよいうめを毎年収かくできるようにしています。



枝のせん定



土作り

中早さんの作業ごよみ（2024年）

1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	土作り	(液肥等) 肥料をやる	除草 じょうそう	農薬散布	(液肥等) 肥料をやる			除草	肥料をやる	土作り	せん定
ミツバチの巣箱をおく		青うめ 収かく				うめぼし用 収かく 塩づけ		天日ぼし			

うめぼし用には、じゅくしたうめを使うらしいけれど収かくの仕方もちがうのかな。





①うめの木の下にネットをしいて、あみやコンテナを使い、落ちたうめを集める。



②うめに塩をかけ、ふたをして1か月以上塩づけにする。



④温室のほし場で3日間ほどほすことで、白ぼしうめになる。



③塩づけにしたうめを取り出す。



⑤大きさに別に容器に入れる。



「^{しら}白ぼしうめの出荷で大事にされていることはありますか。」



うちでは、白ぼしうめを作るまでの作業を行っています。どの作業も気をつけて取り組んでいます。特に選別が大事です。一つ一つ手作業なのですが、紀州のうめの品質ひんしつを守っていくためには、たいせつです。

加工工場へ運ばれた白ぼしうめは、そこでいろいろな味のうめぼしになります。



〈加工工場へ〉

中早さんの願い・夢

～これからも長く続くうめ作りのために～

みなべの
うめを広める



小学生が作る
うめぼしおに
ぎり体験をも
っとしよう



うめの行事を
さかんにしても

うめとり体験
をしよう

まわりをきれい
にしよう

うめ作りのために
環境を守る



みんなできれいな
まちにしよう

みなべの自然や
歴史、文化を守り、
人々のきずなをつくる



むかしからの
祭りを長く続
けよう



うみがめがやって
くる海岸を守ろう

よいうめ
作り



品質のよい
うめにしよう

あなたならどん
なふうをしますか？
書き入れましょう。



「みなべ・田辺の梅システム」で、長
年うめ作りをしてきた中早さんは、こ
れからも品質のよいうめを作ることが
できるようにいろいろな願いや夢を
もって取り組んでいます。

雨

山には、備長炭の
原料の林をつくりま
した。きつてもよい
木を選べるよう
にしています。

森林には、降っ
た雨をためるはた
らきがあります。

みなべ町では「みなべ・
田辺の梅システム」を大切
にしてうめ作りをしてきた
んだね。



梅林

水・養分

ため池

水は、うめ作りや米・野菜
作りに役立っています。

林にすむミツバチが
うめの実ができる手伝
いをしています。

うめ作りだけでなく、
みなべ町の未来につい
ても考えているんだね。



みなべ・田辺の梅システム



谷口さんは、どのようにえんどう作りをしているの
だろう。

ビニールハウスで育つきぬさやえんどう



(4) 野菜を作る農家

えんどうの産地をたずねて

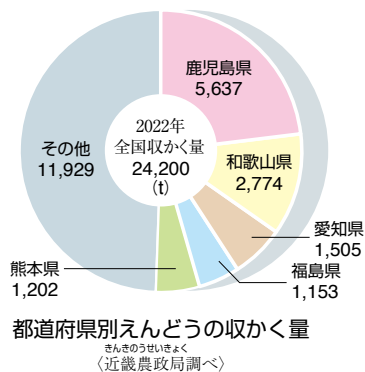
やよいさんたちは、冬の寒い日に、^{いなみ}印南町の^{たにぐち}谷口さん
をたずねました。



「ビニールハウスの中は、あたたかいね。冬なのにも
う春になったみたい。」



「たくさんのえんどうを作っているのですね。」



印南町の海岸沿いでは、あたたかい気候や
水はけのよい土地をいかして、豆やすいかな
どの野菜のさいばいがさかんです。

わたしは、22aの畑で、うすいえんどうやきぬさや
えんどうを作っています。



種まきの準備



育ち始めたえんどうのなえ



「えんどう作りでたいせつなことはどんなことですか。」



豆^か科の野菜なので、肥料^{ひりょう}をやりすぎるとうまく育ちません。ビニールハウスの中を春のあたたかさになるように、温度調節をしたり、育ちぐあいを見たりしながら、肥料のやり方や水の管理・病^{よぼう}気の予防などに気をくばっています。毎日の見回りがたいせつになってきます。

収^{しゅう}かくしたえんどうは、大き^{きん}さや形で選別して、近^き畿^{とう}地方や東^{かい}海地方などに出荷します。



えんどうを育てるビニールハウス



きぬさやえんどうの選別作業



きぬさやえんどうの箱づめ作業



谷口さんのくふうはなにかな？

たにぐち
谷口さんの作業ごよみ（2023～2024年）

田畑	月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
ビニールハウス 4a		土作り	うね立て	種まき		ビニールをかぶせる	加温機を動かす	(うすいえんどう)					土作り
ビニールハウス 18a		土作り	うね立て	種まき		ビニールをかぶせる	加温機を動かす	(きぬさやえんどう)					土作り
露地 17a	小玉いしか									小玉いしか			
田 30a		米作り											米作り

収かく時期 ←



「さいばい方法のくふうは、ありますか。」



えんどうの芽が成長してくると茎の一部をおり曲げてさいばいしている畑があります。こうすることで、多くの豆のさやに日光が当たるため、一つ一つのさやが大きくぶ厚く育ちます。また2段にずらしていることで、たくさん、そして長く収かくすることができるのです。ふつうのさいばい方法にくらべて、収かく量は、約1.4倍以上になります。



ビニールハウスで育ったうすいえんどう



なえが育ってくると、半分をひもでおさえて、地面と水平にたおします。



さらになえが育ってくると、なえをおりまげて、まっすぐに育っているなえの横に平行になるようにもっていきます。



前と後ろでおり曲げた分くさたけに差がでできます。写真のように、花や実は、2段に分かれて育っています。



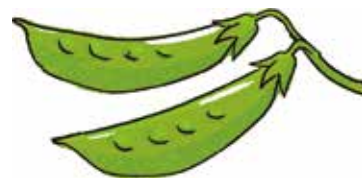
「えんどうのほかにも野菜や米を作っているのですね。」



収かくなどのいそがしい時期が重ならないように、作る物や畑の利用の仕方を考えて、1年中いろいろな野菜をさいばいしています。えんどうをビニールハウスで育てることは、長い期間収かくを続けるためにたいせつなことなのです。



実を食べるうすいえんどう



さやごと食べるきぬさやえんどう

小玉すいか 谷口さんは、小玉すいかも作っています。
6月から7月に収かくします。あまくて人気があります。



畑で育つすいか



すいかの箱づめ作業

トラクター



トラクターの爪^{つめ}をつけ直す谷口さん



新しい爪

古い爪



トラクターの爪を新しくつけ直しました。この10本以上の爪が回転して土を細かくたがやします。



くらべてみると、古い爪は、すいぶん細くなっているね。



ビニールハウスでは、どのように花が育てられているのだろう。

きゅう
丘りょう地に広がるビニールハウス（御坊市名田町付近）



(5) 花を作る農家

① 花の産地をたずねて

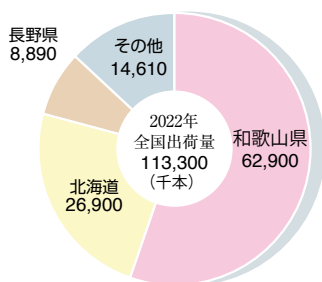
御坊市から印南町にかけての海岸ぞいには、小高い山のふもとから海の近くまでビニールハウスが広がっています。



「たくさんのビニールハウスがならんでいるね。
何を育てているのかな。」



「楽しそうに作業をしているね。二人は家族なのかな。」



都道府県別スターチスの出荷量
（近畿農政局調べ）

わかなさんたちは、花作りにはげむ御坊市名田町の佐藤^{さとう}さんをたずねました。佐藤さんはきれいにさいた花を見ながら、花作りの話をしてくださいました。



花の収^{しゅう}かく



「どんな花を作っているのですか。」



ビニールハウスの中で、スターチスを育てています。御坊市は花作りがさかんで、スターチスの出荷量は日本一です。

名田町では、むかし、日^ひ高^{だか}川から水をひく工事があ
り、それから農業がさかんになりました。

わたしは、20歳から父親の農業を手伝いはじめました。そのころは豆を作っていました。花作りを始めてから24年になりますが、名田町でもだんだんと花を作る農家がふえてきました。むすこも一緒に花作りをしています。

今は「紀州^{きしゅう}パープル」や「紀州スター」という品種のスターチスを育てています。これらは、わたしが作ったオリジナルの品種^{ひんしゅ}で、名前も自分でつけました。



花のようにみえているのは、がくで、花は中の白い部分だそうよ。



スターチスをどのように育てているのかな。



スターチスはどのように育てられているのだろう。



冷たい冷蔵庫（6月頃）

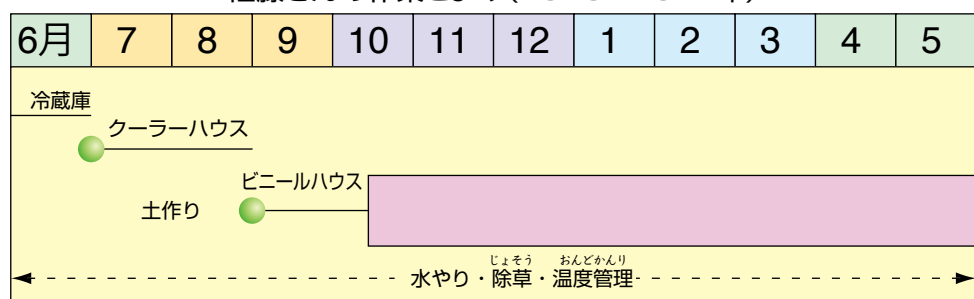


春の気温のクーラーハウス（7～8月頃）



ビニールハウス（9～10月頃）

佐藤さんの作業ごよみ(2023～2024年)



佐藤さんの1年間の仕事

● 植えつけ □ 収かく

② 花作りのくふう



「スターチスを育てるときに、くふうしていることはありますか。」



6月ごろに発芽したスターチスを、まず冷蔵庫に入れます。

1か月後、冷蔵庫から出し、次はクーラーハウスで育てます。1日中エアコンをつけ、中の温度をすずしくたもっています。こうすることで、スターチスは春になったと思ってどんどん生長していきます。冷蔵庫とクーラーハウスを使うことで、花の収穫時期を調整することができるのです。夏の間は、クーラーハウスでなえを育てる仕事のほかに、ビニールハウスの土作りもあるのでたいへんです。

8月の終わりにビニールハウスに植えつけます。花の収穫は10月から翌年の5月末まで長く続きます。

スターチスは、長い期間花をさかせるんだね。





クーラーハウスでの水やり



花の収かく

③ やりがいのある花づくり



「花作りでうれしいことはどんなことですか。」



くろうして育てた花がきれいにさいて出荷
できた時は、とてもうれしいです。収かくし
た花は、箱づめして「がいなポート」(集出
荷場)へ運びます。検査を通った花は、トラックで日
本各地の市場へ届けられます。

また、わたしが育てたなえを買ってくれている農家
の人がよい花をさかせたときも喜びを感じます。

名田町は、わかい後けい者も多く、活気にあふれて
います。これからも和歌山県の花作りをさかんにして
いきたいです。



花の検査



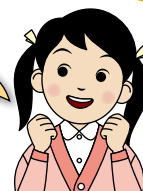
トラックへの積みこみ



父とわたしは、若い花農家の仲間とともに、
オリジナルの品種をつくり出しています。ま
た、花育の活動にも取り組んでいます。

花作りはすてきね。
どんどんふやしてい
きたいな。
身近な花や緑に親
むことにより生命ある
ものへのやさしい気持
ちなどを育てるってす
てきね。

日本各地へ





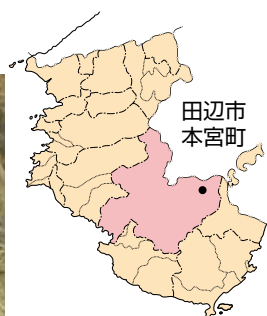
石谷さんの牛たち

石谷さんは、どのように元気な牛を育てているのだろう。



親牛一頭分のえさ(一日分)

- ・きのこを発酵させたもの 約4kg
- ・おからが入っているもの 約3kg
- ・牧草、河原の草 約3kg
- 産前産後の6か月間に増えるえさ
- ・ふすま、トウモロコシ 約1~2kg



子牛のえさ

- ・子牛用配合飼料
- ・子牛が好きな牧草

(6) 家畜をかう農家

和牛を育てる石谷さん

ここは田辺市本宮町上切原。熊野川の河原のすぐ近くに石谷さんの牛舎がありました。

「ようこそ、いらっしゃいました。」

石谷さんと100頭ほどの和牛たちが出むかえてくれました。やよいさんたちはちょうど牛のえさやりをはじめた石谷さんにお話を聞きました。



心をこめて育てている石谷さん



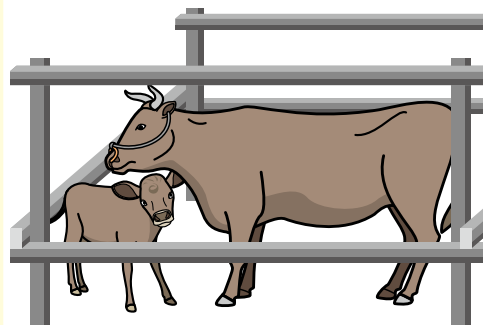
父のあとをついで30年になりますが、
子牛を年に50頭ほど出荷しています。

牛の健康については獣医さん^{じゅうい}と相談しながら、牛が食べるえさの量や、ふん^{ふん}の状態^{じょうたい}などをしっかりと見るようにしています。

4か月ほど育てた子牛を親牛^{はな}と離し、4～6頭ずつに分けて育てます。仲がよくなないと、えさを食べなくなるので、牛のようすに気をくばっています。

うまれてから8～10か月ほど育て、年に5回開かれる市場に出荷します。

生まれてしばらく
いっしょに過ごす親子



石谷さんはみんなの
牛の名前が言えるん
だって。



「出荷するときは、どんな気持ちですか？」



生まれてきたときから愛情をこめて
育ててきた牛たちと別れるのは、さび
しいです。田辺市本宮町で「熊野牛^{くまのうし}」
というブランドを守っていくことで、地域^{ちいき}をさ
かんにしていきたいと願っています。

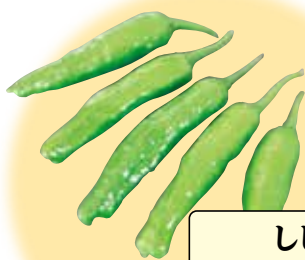
すごい！一頭一頭大切に
育てているんだね。



3

これからの農業

和歌山県の農業をさかんにするためにどんなことに取り組んでいるのだろう。



ししとう
「ししわかまる」
からくないししとうがらし。



うめ
「星秀」
くろほしびょう 黒星病に強く、実のりも安定している。

かき
「紀州てまり」

あま 甘がきで、ほかの甘がきより少し早い10月下旬には収かくできる。



いちご
「紀の香」
あまみ 甘味や酸味が、かおりも強い。



うすいえんどう
「紀の輝」

夏に種をまき、10月中ごろから収かくできる。さやが大きいくたくさん収かくできる。



スターチス
「紀州ファインオーシャン」
今までよりたくさんとれ、花のふさも大きい。

和歌山県にしかない新しい品種が作られているんだね。



研究所については、P82にあります。

① ぞくぞくうまれる新品種 ひんしゅ (和歌山県のオリジナル品種)

和歌山県には、農業の研究をしている農業試験場 しけんじょう や果樹試験場 かじゅ などの研究所があります。そこでは、品質のよい野菜やくだもの・花を作る研究をしているだけでなく新しい品種も作り出しています。

② 新しい技術^{ぎじゅつ}を農業に



電動一輪車
お
手押し一輪車を電動化することで、小さい力で楽に作物を運ぶことができます。



農業用ドローン
畑の様子を上から観察したり、農薬や肥料をまいたりする。



ハウスさいばいでの自動化
ハウスさいばいでは、コンピュータなどを使って温度や湿度、水やりなど、ハウスの環境を調整している技術もある。

新しい技術を取り入れることによって、和歌山の農業をよりさかんにしようとする取り組みがされています。

③ 和歌山県の農業を広めよう

ジェイエー^{ジェイエー}は、花育活動^{はないく}として、地域でさいばいされた花を使って教室を開いています。自分たちの地域で育てられた花に親しみ、花への関心を深めています。おくる相手をおもい、花を通して感謝^{しゃん}する心でいっぱいにすることを願っています。



花育活動
卒業式前にフラワーアレンジ教室が行われる。

新しい研究を生かして農業をする人がふえてほしいね。



全国ベスト5農産物カルタ

読みふだに合う
作物を見つけよう!

B

ビニールハウ
スで多くさいば
いされています。
実は、さやに
入っています。

A

木の下に落ち
た実をひろって、
収^{しゅう}かくする方法
もあります。
全国の半分以
上は、和歌山県で
生産されます。



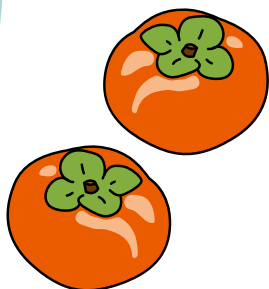
D

秋に葉っぱが
色づく^{しきづく}と、とても
きれいです。
種があったり、
なかったりしま
す。

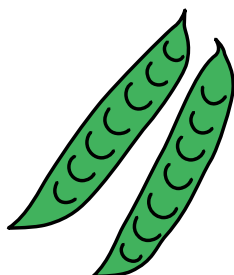
C

ドライフラワ
ーにもなります。
色は、むらさ
き・ピンク・黄色
などです。

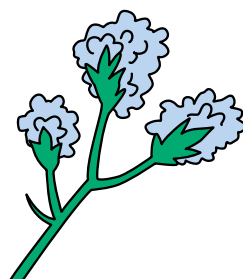
い



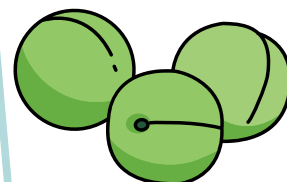
あ



う



え



E

実をとると、切り口から白い液が出てきます。
実の中は、細かなつぶつぶになっています。

F

だんだん畑でさいばいされていることが多いです。
和歌山県を代表するくだものです。

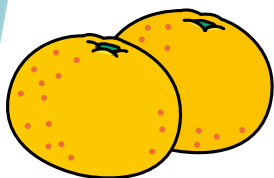
G

実にふくろをかけて、育てます。
紀の川市でさいばいがさかんです。

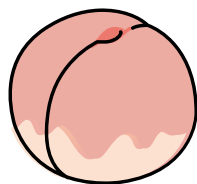
H

収かくしてしばらくおくと、あまくなります。
このフルーツと同じ名前の鳥がいます。

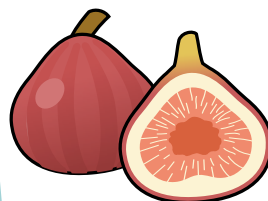
お



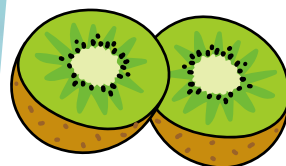
か



き



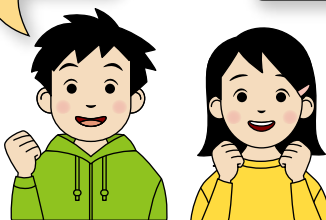
く



読みふだ

自分のカルタを作ってみよう。

きこう
気候や土地をいかした、くだもの作りがさかんだね。



絵ふだ

答えは、P82にあります。

読みふだと、作物の絵ふだをつくりましょう。